

# 令和7年度 第53回全国高等学校選抜卓球大会 実施要項

(注)本要項はあくまでも参考としてください。実際の手続き等は正式な大会要項にてご確認ください。(2025/2月現在)

主催 公益財団法人日本卓球協会  
 共催 公益財団法人全国高等学校体育連盟  
 主管 (一社)新潟県卓球協会、公益財団法人全国高等学校体育連盟卓球専門部  
 後援 スポーツ庁、新潟県、新潟県教育委員会、(公財)新潟県スポーツ協会、  
 新潟県高等学校体育連盟、上越市、上越市教育委員会  
 運営協力 新潟県高等学校体育連盟卓球専門部

- (1) 期 日 ①開会式 2026年3月22日(日) 15:30～  
 ②競技 2026年3月23日(月)～25日(水)  
 ③閉会式 2026年3月25日(水) 競技終了後
- (2) 会 場 新潟県 リージョンプラザ上越  
 〒942-0063 新潟県上越市下門前 446-2 TEL: : 025-544-2122
- (3) 競技種目 ①男子学校対抗 ②女子学校対抗  
 ③男子シングルス(2部) ④女子シングルス(2部)
- (4) 競技規則 (1)現行の日本卓球ルールを適用する。  
 (2)選手は、(公財)日本卓球協会発行の2025年度ゼッケンを背中につけること。  
 監督は、役員章(公財)日本卓球協会発行の2025年度役員章をつけること。  
 (3)競技用ユニホームは、(公財)日本卓球協会公認マークのついたものとし、明らかに異なった色のものを2着以上持参すること。  
 (4)競技用服装メーカーの商標、シンボルマークあるいはネームは、全面積が24cm<sup>2</sup>以下のウェアを着用すること。それ以上の大きさのメーカー商標は広告になるので本大会では着用できない。  
 (5)男女シングルス(2部)のアドバイザーのベンチ入りを以下の条件で認める。  
 ①アドバイザーは、1名とする。  
 ②アドバイザーは、大会申込時に記載された当該校の監督・選手に限る。  
 ③アドバイザー(1名)は試合開始時またはゲーム間にベンチに入ることができる。試合途中にコートから離れてもよいが、以後そのコートには復帰できない。  
 (6)部旗の掲示は、200cm(ヨ)×150(ケ)cm以内のものを1校1枚とする。  
 (7)接着剤の使用は、指定された場所のみで認める。なお、ラケットの検査を実施することがある。
- (5) 競技方法 (1)全種目11本5ゲームスマッチで、予選リーグ・決勝トーナメント方式とする。  
 (2)学校対抗(団体戦)について  
 ①3～4チームによる予選リーグを行い、各リーグ1位校が決勝トーナメントに進出する。  
 ②試合順序は次の通りとする。
- |     |   |   |   |   |   |
|-----|---|---|---|---|---|
| 順 序 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 対 戦 | S | S | D | S | S |
- 3番のD(ダブルス)は、1番・2番のS(シングルス)に出場した選手同士で組むことはできない。なお、S(シングルス)はすべて異なる選手とする。  
 ③選手登録人数は4名以上7名以内とし、補欠は認めない。ただし、外国籍留学生は2名以内とする。外国籍留学生は、1試合につき1名が1度のみ(S・Dを問わず)出場できる。  
 ④勝敗は3試合先取で決する。決勝トーナメントより2台を使用する。
- (3)シングルス(2部)について  
 ①3名による予選リーグを行い、各リーグ1位の選手が決勝トーナメントに進出する。
- (4)審判について  
 ①学校対抗については、参加校は1名の帯同審判員を同行させ、申込用紙に審判員名を記入すること。ただし、やむを得ない場合は登録選手が帯同審判員と重複してもかまわない。なお、登録選手数が7名以下の学校は、審判業務を免除する  
 ②シングルス(2部)に出場する学校は、帯同審判員同行の必要はない。
- (6) 使用球および使用卓球台  
 ①使用球は、(公財)日本卓球協会公認の40mm白球(プラスチック)とする。  
 ②使用卓球台は(公財)日本卓球協会公認で色はブルーとする。

- (7) 参加資格
- (1) 選手は学校教育法第 1 条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
  - (2) 選手は、各都道府県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、当該競技要項により全国大会の参加資格を得たものに限る。
  - (3) 学校対抗は、最高学年を除いてチーム編成をしなければならない。すなわち平成 19（2007）年 4 月 2 日以降に生まれた 2 年生以下の者とする。ただし、学校対抗の部においては、2 回までとし、同一学年での出場は 1 回とする。
  - (4) チームの編成においては、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
  - (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
  - (6) 転校後 6 か月未満の者は参加を認めない。（外国籍留学生もこれに準ずる）ただし、一家転住等やむを得ない場合は、各ブロック高等学校体育連盟会長・各都道府県高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りではない。
  - (7) 外国籍留学生の出場については、（公財）全国高等学校体育連盟の規定による。（シングルス（2 部）には出場できない。）
  - (8) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。
  - (9) 選手は当該年度に公益財団法人日本卓球協会に登録された者であること。
  - (10) 学校対抗の選手変更については以下の条件で認めることがある。  
病気等によりやむを得ない場合は、所定の用紙に必要事項を記入し（校長印、顧問印が必要）診断書を添え、監督会議までに競技運営委員長へ届け出て、承認を得るものとする。
  - (11) 参加資格の特例
    - ① 上記 (1)、(2) に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、都道府県高等学校体育連盟が認めた生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
    - ② 上記 (3) については、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、学校対抗においては 2 回限りとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】

- 1 学校教育法第 72、115、124、134 条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会参加を認められた生徒であること。
  - 2 以下の条件を具備すること。
    - (1) 大会参加を認める条件
      - ①（公財）全国高等学校体育連盟の目的を理解し、それを尊重すること。
      - ② 参加を希望している特別支援学校、高等専門学校、専修学校および各種学校にあつては、年齢・修業年限ともに高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
      - ③ 各学校にあつては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。
      - ④ 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもと適切に行われており、活動時間が高等学校に比べ著しく均衡を失しておらず、運営が適切であること。
    - (2) 大会参加に際して守るべき条件
      - ① 全国高等学校体育連盟卓球専門部の規約・規程を遵守し、競技種目・大会申し合わせ事項等に従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。
      - ② 大会参加に際しては、当該校の教職員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて損害・賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
      - ③ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。
- (8) 引率・監督
- (1) 引率責任者は、学校対抗の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第 78 条の 2 に示された者）も可とする。但し、当該都道府県高等学校体育連盟会長に事前に届け出ること。
  - (2) 監督は、校長の認める指導者とし、当該年度に（公財）日本卓球協会に登録されたものであること。また、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入し、その証明書を添付した「外部指導者申請書」を大会参加申込時に提出することを条件とする。但し、各都道府県における規定があり、引率・監督者

がこの基準より限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。

- (9) 参加制限
- (1) 学校対抗 (団体戦) 男女各 56 チーム  
北海道、東北、関東、北信越、東海、近畿、中国、四国、九州  
希望枠 (男 3・女 3)  
開催県 (男 1・女 1)  
前年度優勝校・準優勝校は推薦出場 (男女各 1)。
- (2) シングルス (2 部) 男女各 48 名 (各都道府県男女各 1 名、開催県男女各 1 名)  
① 各都道府県予選会の学校対抗で 1・2 位になった学校及び本大会への出場権を有する学校からは出場できない。  
② 過去において、下記の大会に出場あるいはエントリーした者は出場できない。  
ア 全国高等学校選抜卓球大会 (学校対抗・シングルス)  
イ 全国高等学校総合体育大会卓球競技 (学校対抗・個人戦)  
ウ 国民体育大会 (ブロック大会も含む)  
エ 全日本卓球選手権大会 (一般・ジュニア・ダブルス)
- (10) 申込方法
- ① 全国高体連卓球専門部ホームページより「申し込み用紙 (Excel)」をダウンロードし、必要事項を入力する。入力後、印刷された申込用紙に押印し、下記申し込み先にそれぞれ書留郵便で送付すること。1 部は、必ず該当の学校に保管すること。また、下記申し込み先【B】のメールアドレスに申し込みデータを送信すること。  
② 各ブロックの責任者は、学校対抗のブロック予選の順位をそれぞれ送付すること。  
③ 申込期限 年 月 日 ( ) 必着  
④ 申し込み先  
【A】 〒464-8540 愛知県名古屋市千種区若水 3-2-12 愛知工業大学名電高等学校内  
(公財) 全国高等学校体育連盟卓球専門部 事務局 川村 光男  
TEL : 090-5393-5253 FAX : 052-722-3788 E-mail : mituo108@yahoo.co.jp  
【B】 〒951-8131 新潟県新潟市中央区白山浦 2 丁目 68 の 2  
新潟県立新潟商業高等学校内  
新潟県高等学校体育連盟卓球専門部 委員長 松本 滋  
TEL:025-266-0101 FAX:025-230-4751 E-mail : matsumoto.shigeru@nein.ed.jp
- ※ 個人情報の取り扱いに関して  
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。
- (11) 参加料
- |         |               |       |          |
|---------|---------------|-------|----------|
| (1) 参加料 | ① 学校対抗        | 1 チーム | 45,000 円 |
|         | ② シングルス (2 部) | 1 名   | 4,500 円  |
- (12) 表彰
- (1) 学校対抗 ① 第 1 位から第 5 位 (ベスト 8) まで表彰する。  
② 優勝チームの 1 名に殊勲賞を授与する。  
③ 準優勝チームの 1 名に敢闘賞を授与する。  
(2) シングルス (2 部) 第 1 位から第 5 位 (ベスト 8) までを表彰する。  
(3) 前年度優勝校および当年度シングルス優勝者にはレプリカを授与する。
- (13) 組合せ
- (1) 学校対抗は公開抽選において行い Web 配信する。  
(2) シングルス (2 部) は (公財) 全国高等学校体育連盟卓球専門部で抽選において行う。
- (14) 宿泊 別紙宿泊要項による。
- (15) 連絡事項
- ・ 競技中の疾病・傷害での応急処置は主催者側の負担とするが、その後の責任は負わない。なお、参加選手・役員は健康保険証を持参すること。
  - ・ 引率責任者は、選手の行動に対して全ての責任を負うものとする。選手は高校生の本文を十分自覚して行動すること。
  - ・ 申し込み不備による問い合わせの諸経費は当該都道府県の負担とする。
  - ・ 学校対抗 (団体戦) 参加校は 1 名の帯同審判員を同行させ、申込用紙に審判員名を記入すること。ただし、やむを得ない場合は登録選手が帯同審判員と重複してもかまわない。なお、登録選手が 7 名以下の学校は、審判業務を免除する。また、帯同審判員の資格については、「7 参加資格」に準ずる。